

学校だより青南



夏休み前号

令和2年7月31日
港区立青南小学校
校長 関 幸治

この夏だからこそ

副校長 庄司 哲也

本来なら、今年の夏休みは東京オリンピック・パラリンピック一色のはずでした。様々な国や地域の方が日本を訪れ、スポーツを通して感動を得るだけでなく国際交流を通し、自らの未来に向けた夢をもつこともできたはず。それが、東京オリンピック・パラリンピックの延期、そして三ヶ月に及ぶ臨時休校。半年前にはこのような事態になるとは誰も考えることもなかったはず。また、「マスクの着用」「ソーシャルディスタンス」「飛沫」「3密」「オンライン学習」など、今まであまり耳にしなかった言葉も流行語のごとく、使われるようになりました。

6月からの分散登校、7月からの通常登校。やっと戻った学校生活ですが、また明日から24日間の夏休みに入ります。今、「新しい生活様式」を日常生活で実践している中で「夏休みの新しい生活」も改めて考える時だと思えます。何も考えずに時の流れに身を任すと、あっという間に2学期が始まります。夏休み中の「学習」「生活」について考えましょう。

<学習>

- 宿題を計画的に行う。
- 自らの課題(弱点)を克服できるよう、あきらめず楽しく学び、前進できる取り組みをする。
- タブレット等を活用し、様々な情報を得たり、本を読んだりする習慣を身に付ける。
- 学校生活ではあまり学べない身近な環境や自然から体験できることを行う。

<生活>

- 休校期間の自宅での生活を振り返り、夏休みにできることを見つける。
- 健康を考えた食事をし、暑さを考えた適度な運動を行う。
- 家族の一員としてできることを考え実践する。また、家族との会話を大切にする。

短い夏休みを有意義に過ごすために、最近私が出会った言葉を紹介します。

凡事徹底(ぼんじてっい)

<何でもない平凡なことをしっかりやっていくこと。その積み重ねが大きな違いを生み出す。>

今年はコロナウイルスの感染に加え、大雨により日本各地で災害が発生しています。しかし、過去にもききんや疫病、戦争など多くの試練があった中でも、私たちの先人は困難を克服してきました。人間には知恵を出し合い考え、周りとの協力できる力があります。ピンチをチャンスと捉え、家族で新しい生活を考えみんなで取り組むことを見つけてはいかがでしょうか。共に取り組むことでお互いの良さを発見できるかもしれません。また、こういう時こそ笑顔で生活することで周りの人も安心し、自然と笑顔が交わされるはず。この夏だからこそ、お互いを尊重し、周りの人や自分自身に「ありがとう。」という言葉に包まれる生活を送れることを期待しています。

8月25日(火)に少したくましくなった皆さんに会えること楽しみにしています。